

翼PTA通信

第41号
発行
翼キャンパス
PTA

コロナ禍の中でも継続的に取り組め、

生徒を育むPTA活動を目指して

PTA会長

後藤 かな子

令和四年度PTA会長を務めさせていただくこととなりました後藤です。一年間よろしくお願いいたします。保護者の皆様をはじめ、関係者様各位におかれましては日頃よりPTA活動へのご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先般より続く新型コロナウイルス感染症に関しまして、未だ子供たちはもとより、保護者の皆様もご心配や戸惑いが尽きない状況かと存じます。また先生方、学校関係者の皆様のご配慮やご尽力、それに伴うご心労はいかばかりかと推察致します。

このような状況ではございますが、一宮起工科高等学校昼間定時制PTAとしましては、前年度に引き続き、子供達の学校生活における安心安全、そして笑顔でいられる環境を整えるための対応が常にできるように努めてまいりたいと考えております。三年ないし、四年間学舎に通う間に様々な出来事と出会い、色々な感情を経験するでしょう。それらに対して、生徒をどのように育んでいくのか、保護者及び・先生方、それぞれからの視点の架け橋にPTA会長としてなれば幸いです。

高校生活の始めから終わりまでをコロナ禍中で過ごすこととなった生徒さんも多いと思います。今まで当たり前とされてきた流れが新しい様式となり、前世代の人が模索をしながら柔軟に対応していくことが求められてきました。実行するところが難しいこの柔軟性ですが、人生で厳格であるべき部分と共に大事な視点であると私は考えています。翼キャンパスに通われる皆さんの多くは既存のものと折り合いをつけてということが、今までも多かったのではないのでしょうか。コロナ禍での経験も新たな着眼点として成長していただけたらと願っております。

新しい生活様式が定着しつつ、行動制限がゆるやかになりつつある中、PTAとしましても限られた範囲の中で、できうる活動を、と勘考しているところでございます。後年も含め無理なく継続して行うことができ、かつ生活や地域学校へ還元し、最も多感な高校生時代の健全な発育発達に寄与することができればと考えております。

今年は成人となる年齢が変わる年でもあります。学生であり成人であり、自身で決断することができる場が増えつつも、保護者の管理下であったりと複雑な自己決定を求められる年代がすぐやってきます。選択肢が増え、揺れ動くことも増えるでしょう。もちろん失敗することもあるはずですが、自分で考え抜いて決めた一つ一つの経験を栄養分として、これから先一人一人が「これで良かった、翼キャンパスで良かった」と実感できる手助けになればと願って止みません。

最後になりましたが、今後とも先生方や保護者の皆様と共に微力ながら子供達を見守り、支えていきたいと存じます。これからも皆様のお力添をお願い申し上げます。

「育成したい能力」

校長

大島 隆二

本年度の入学生から施行される新学習指導要領では「どのような力を身に付け、それによって何ができるようになるか」までを求められる教育に変わりました。その際、これまでのように「学んだことをしっかりと理解しているか」を評価するだけではなく、知識や技能を身に付け、それを元に「自分で考え、表現・判断し、実際の社会で役立てること」を評価することも求められるようになりました。

「社会人基礎力」を提唱している経済産業省によると、社会に出てから求められるこれらの力は、自ら疑問をもち考え抜く力であり、現状を分析することで目的や課題を明らかにし、その解決のための計画を立てたり、新しい価値を創造することができたりする自律的な思考力とされています。

「社会人基礎力」とは、社会に出て活躍するための力のことで、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の三つの能力が必要とされています。その中でも、最も育成したい能力が、「考え抜く力」だと考えています。この能力は学校教育の中だけで身に付けることが難しく、常日頃から意識して訓練する必要があります。

それでは、「考え抜く力を身に付けるにはどうしたらよいでしょうか。いくつか例を挙げてみますので、参考にしてください。

- ・まず考えてから行動する習慣をつける
- ・人の話や助言にきちんと耳を傾ける
- ・自分から行動を起こす癖をつける
- ・人や物に対して興味や関心をもつ

さらに経済産業省は、「人生百年時代の社会人基礎能力」として新たに「三つの視点」を追加しました。

- ① 「何を学ぶか」(学び)
人生百年時代に突入した今、何を学び、どう学び続けていくのかを考えることが大切です。自身のもつ能力や才能を理解し、時代や状況に合わせて臨機応変に対応することが求められるなかで、もっている能力を発揮するためには「考え抜く力」がよりいっそう重要になります。
- ② 「どのように学ぶか」(統合)
「どのように学ぶか」とは、さまざまな体験・経験・キャリアを組み合わせ、統合することを意味します。多様な価値観を創出するために、人々の「得意」を組み合わせる「チームで働く力」がポイントとなります。
- ③ 「どう活躍するか」(目的)
自己実現や社会貢献という目的に向かって行動するために、しっかりとした目的意識をもちながら能動的に周囲に働きかけ、協力し合って新たな価値を創造するための「前に踏み出す力」が必要となります。

これらは、新学習指導要領において示される、児童・生徒が学校教育の中で身に付けるべき力として育成を目指す資質・能力の三つの柱につながります。具体的には「知識・技能」(何を理解しているか・何ができるか)、「思考力・判断力・表現力等」(理解していること・できることをどう使うか)、「学びに向かう力・人間性等」(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)の三つです。

本校では全職員が一丸となって、卒業後のお子様が社会に出てから活躍することができるよう育成してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

修学旅行・遠足感想

修学旅行の朝はとても早く始まりしました。朝の集合時間がとても早かったので、行きのバスの中では爆睡してしまいました。初日はみんなで昼食にラーメンを食べ、その後には神戸の町を散策しました。神戸の町には、愛知には無い雰囲気と景色がありました。この景色を見ることができて良かったです。デイナークルーズでは、今まで見たことのないような料理が出てきました。テーブルマナーも学びました。海の波にゆられながら食事をするのも、いいものだなと思いました。その夜のホテルは、中もとてもきれいで、窓から見える景色がとても最高でした。

二日目はユニバーサルスタジオジャパンに行きました。とても楽しかったのですが、人がとても多くて、ちよつとイライラしてしまうくらいでした。その日はとても暑かったのもあり、僕たちの班の一人が体調をくずしてしまいました。僕も体調をくずしてしまいそうでした。二日目の夜の食事は、バイキング形式で味もおいしく、楽しく食べられました。

三日目は京都観光でした。トロッコ電車に乗った後に、川下りをしました。川下りは、今まで体験したことがなかったので、体験できて本当によかったです。特に乗船員さんがやさしくておもしろい人だったことが思い出にのこりました。

たくさん「初めての体験」ができた修学旅行でした。



三日間、神戸・大阪・京都に行って、楽しかった思い出と学べたことがたくさんありました。

一日目の朝はすぐ眠くて、修学旅行という実感が全くありませんでした。バスの中で寝てしまい、バスガイドさんの話があまり聞けません。神戸についたら、すぐに班散策でした。私たちは、最初、北野異人館方面へ向かいました。その向かっている途中の坂が急斜面で、さらに日も出ていて暑苦しくて地獄のようでした。北野異人館の中は見ませんでしたが、兵庫の郷土料理の明石焼きを食べたので、地獄のような状態から回復できました。その後は、南京町で色々見て、お土産も買って、楽しかったです。夜はデイナークルーズでした。班散策と震災学習で歩き回って、体力が限界に近かったですが、おいしい料理ときれいな夜景で幸せでした。学んだテーブルマナーは、今後使う場合があれば、恥をかかないように思い出して活かしたいと思いました。一日目は十キロ近く歩いたので、そのせいかぐっすり寝れました。

二日目は大阪のユニバーサルスタジオジャパンでした。中に入ると、いろいろなキャストさん達が笑顔で手を振っていたり、接客をしたりしていて、やっぱりそういった仕事をしている人たちはすごいなと思いました。子どもの目線にあわせてしゃがんで話している方もいて、私も笑顔になり、一日気持ちよくいられました。パークの中では、色々なアトラクションに乗りました。可愛いヨッシーのカチューシャとポシエットで回れたことが良い思い出になりました。

三日目は、一日目と二日目と歩き回ったので本当に足がきつかったです。ですが、ハッ橋や私の好きなちいかわの Mascot が手に入り気分が高まりました。そして、トロッコから見える良い景色と保津川下りも最高で、足の痛みも気にせず満喫することができました。

三日間の修学旅行は思っていた以上に楽しくて、色々なことを知り、学ぶことができて、高校三年間でとても思い出に残る三日間でした。

私は修学旅行に行って思い出がたくさん増えました。まず、一日目の神戸では南京町に初めて行くので、事前に班の子達と食べたい物を調べたりしてました。みんな目的の食べたい物をおいしそうに食べていたので、良かったし、とても気持ちがほっこりしました。私はどちらかというと、食べ物よりも町並みの写真を撮るのに必死で、スマホのカメラロールに写真がいっぱい増えました。震災学習では、最後にガイドさんが感極まって泣いていらっしやるのを見て、私ももらい泣きをしそうになりました。夜のクルーズでは、テーブルマナーが難しくて班の子も震えながら食べていました。日が落ち、船上からの景色は本当に綺麗で、最高でした。仲の良い友達と夜景を見るのを一緒に見るのが初めてで、高校を卒業する時のことを考えてしまい、少しさみしい気持ちにもなっていました。

二日目のユニバーサルでは、私は乗り物は嫌いでしたが、せっかくなので頑張ってみることにしました。そうしたら意外にも自分が乗り物が平気だということに気づきました。ハリポッターにも三回乗り、フライングダイナソーに乗っている友達を下から応援したりして歩き疲れましたが、その分楽しんで、思い出深い一日になりました。特にユニバーサルで一番楽しかったことは、乗り物嫌いで最後まで何も乗らなかった友達と、ハリポッターに乗ったことです。最初は「イヤイヤ！」と言っていましたでしたが、最後には笑って戻ってこられたので、本当に楽しかったです。

三日目の嵐山では、お目当てのリラックマ茶房に友達がついてきてくれて、大好きなリラックマのグッズをたくさん買って幸せでした。川下りでも、がんばって漕いでいる友達をビデオに納められたので、もう満足でした。

この三日間、本当に濃い三日間になりました。帰る時のバスでは、さみしい気持ちになりましたがこの三日間の思い出を胸にしまって、今後も頑張りたいと思います。



私は、今回の遠足で学んだことが二つあります。

一つ目は、仲間の大切さです。今回、遠足でリトルワールドに行きました。一人で園内のことを学ぶのはさびしく感じますし、集中して学ぶこともできません。友達と一緒にまわることで楽しく、集中して学ぶことができます。私は、友達とまわられて、楽しく集中して学ぶことができました。特に、友達と韓国の韓服を着られたことが、とても印象に残っています。友達と一緒にまわれたからこそできた体験だと思っています。

二つ目は、海外の文化や歴史を知ることの大切さです。今では新型コロナウイルスの感染拡大のせいで、なかなか日本以外の国に行って直接体験するのは難しいと思います。ですが、今回の遠足で実際にその国にあった建物などを見て学べたので、良い経験が出来たと思います。また、私は将来、海外とたずさわる仕事につきたいと思っていますので、とても良い学びになりました。



2年生は、ナガシマリゾートに行きました。

遠足を通して、日本と海外の国々とは文化も服装も違うけれど、そのことを互いに理解し合っていて知っていったら素晴らしいなと思いました。また、これから学校生活をより楽しくするために、友人们たちとも、もっと理解しあっていきたいと思っています。

部活動紹介・活動報告

【陸上競技部】

現在三年生男子一名で、平日週四日を基本に活動しています。大会が近づくと、休日に陸上競技場へ行き、より本番に近い環境で練習をします。個人が目標をもって継続してトレーニングを行い、自己を高めながら取り組んでいきます。

県大会は六月と十月にあり、六月の大会で優秀な成績を収めると八月の全国大会に愛知県代表として出場できます。この全国大会には、7年連続で出場しています(一昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、大会は開催されませんでした)。

今年の全国大会は、男子1500mに出場しました。大舞台で、予選を突破し、決勝では、七位入賞という結果を収めました。一年次から意欲的に取り組んだ成果が発揮されました。

グラウンドが狭く、設備には恵まれていません。競技の性質上「辛く厳しい」練習が多い部活です。しかし、今やるべきことにしっかりと向き合い、継続して努力すれば目標が叶うことを学べる部活動です。みなさん、ぜひ一緒に活動しましょう。入部お待ちしております。



【卓球部】

現在卓球部は、三年生二人、二年生二人、一年生三人で活動しています。中学校からの経験者もいますが、高校から卓球を始めている生徒もいます。お互い教えあいをしながら、毎日楽しく活動しています。今年の定時制通信制大会では、団体戦にも出場しました。惜しくも初戦敗退でしたが、チームとして卓球をする楽しさも感じる事ができました。

卓球は生涯楽しめるスポーツと言われています。個人戦もあるので、大会にもすぐ出場できます。今から入部しても楽しくプレーできます。みなさんの入部をお待ちしています。



【バドミントン部】

現在三年生六名、二年生三名、一年生九名が登録をしています。今年度は、多くの生徒が登録していることと練習場所の大きさの関係上、二・三年生と一年生で分かれて活動しています。そのため週に一日から二日程度の活動となっています。

本校のバドミントン部は高校に入学してから始める生徒も多くいます。練習は基礎打ちや試合をして楽しく活動しています。また、年に二回は定時制通信制の大会に出場しており、六月に行われた大会では、女子ダブルスで三位に入ったペアもいます。日々一生懸命取り組み大会で日々の練習の成果を発揮することで、勝つ喜びや、負ける悔しさを実感してもらいたいと考えています。興味がある人はぜひバドミントン部へ入部してください。



【バスケットボール部】

今年度は1年生8名、3年生2名の部員が集まりました。本校のバスケットボール部は、初心者が多く、バスケットボールを通じて体を動かす楽しさやスポーツをしたときの爽快感を味わいながら、基礎練習を中心に取り組み体力・技術力向上を目指し、日々の練習に励んでいます。

活動は、火・金曜日に体育室で1時間程度の練習を実施しています。また、年に2回は定時制通信制の大会が開催されています。バスケットボールを通じて体を鍛えて強くなりたい、大会に出場して勝つ喜びを実感したいと考えている人は、入部して下さい。



【文芸部】

部員の都合の良い日に活動教室に集まり、絵を描いています。決まった日に全員集まって活動するというよりは、各々が活動できる日に集まり、和気藹々と絵を描いて楽しんでいきます。アナログ、デジタル問わず、好きなキャラクターを描いています。また十月に行われる文化祭では、部誌を発行します。部員がそれぞれ気合いを入れて描いた力作を持ち寄り、冊子にして展示します。スキルの高さは問いません。絵を描くことが好きな人、興味がある人は、ぜひ文芸部へ入部して下さい！待っています！



【折り紙研究部】

現在、折り紙研究部は、3年生3名、2年生5名、1年生4名が登録しています。他の部活と兼部している生徒も多くいます。活動は1週間に1回程度で、みんなで相談して都合の良い日程を決めています。主な活動場所は図書館で、視聴覚室や教室で行うこともあります。

登録している部員数は比較的多いですが、実際に参加している人数は少ない状態です。でも、参加している部員達はとても熱心で、素敵な作品をたくさん作っています。

作品は、折り紙だけでなく切り絵や切り花作りなど多岐にわたっており、消しゴムハンコを制作した生徒もいます。完成した作品は、図書館の企画展や文化祭等で発表していきます。

手作りのものを作ってみたい人、興味がある人、熱心に参加できる人であれば、大歓迎です。一緒に活動してみませんか。



【商業研究部】

表計算ソフトやワープロソフトの資格取得を目指して学習しています。自分の能力・ペースに合わせて学習できるため、無理なく続けることができます。思いいます。

活動日は、月曜日から金曜日の自分の都合の良い日です。毎日三十分タイプ練習をして下校する生徒もいます。目指す資格は、全商情報処理検定試験(九月・一月)、全商ビジネス文書実務検定試験(七月・十一月)です。どの検定試験も年に二回程度実施されるため、短期・中期的な目標を持って取り組むことができます。随時部員を募集中です。資格取得に興味のある人は、ぜひ、商業研究部へ！途中入部OK！いつでもOK！です。



【郷土研究部】

今年度は三年生二名、四年生十二名の部員が集まりました。五月には敷地内の畑を耕し、ゴーヤとトマトの苗を植えました。毎日欠かさず水やりをした結果、八月になって実がなり始めました。毎日少しずつ大きくなっていく様子を見て、生徒たちは喜びを感じているようでした。収穫したら、ゴーヤチャンプルーやアマトリチャーナなど、日本や外国の郷土料理をつくってみるなどおいしく食べる予定です。これまでの栽培記録や調理の様子などをポスターにまとめ、文化祭で展示発表します。

自分たちで野菜を育てることを通して、「食」の大切さを考えることにもつながっています。顧問だけでなく、野菜や植物の栽培経験がある先生方に助言や協力をしていただきながら、楽しく活動しています。

